

平成25年第4回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（4人）

順位	議席	議員氏名
1席	14番	松林義光 議員
2席	4番	檜山 忠 議員
3席	3番	平野敏彦 議員
4席	1番	高坂隆雄 議員

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1席	14番 松林 義光 議員	<p>1. 木ノ下児童館老朽化への対応について</p> <p>2. 児童館運営について</p> <p>3. 学校給食について</p>	<p>木ノ下児童館は、昭和46年に開設、築後42年経過し老朽化が進んでいる上に、常時40名前後の児童が利用していることから手狭となっているのが現状です。町が対象者に実施した児童館老朽化対策に関するアンケート調査では、北部児童センターへの移設が60.45%、児童館統合に賛成の方が83.92%という結果でありました。移設・統合、現在の場所に立て直すなどの手法が考えられるが、町長は、地域住民の声をどのように受け止めているのか。</p> <p>児童館・放課後児童クラブの閉館時間を30分延長し、6時30分までとする考えはあるか。</p> <p>(1) 学校給食は、今後センター方式で実施するそうですが、何年度に建設するのか。また、建設場所も検討されているのか。</p> <p>(2) センター方式導入時には、調理員は減員されるのか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
		4. おいらせ町営霊園について	<p>(3) 現在、センターでの給食費の滞納額は、24年度820万円余りと多額ですが、今後センター方式に切り替えることにより、更に滞納額が増えるものと懸念しています。解決策は。</p> <p>(4) 今年度、滞納期間の長いものでは何か月か。</p> <p>現在、1種2種と合わせ、139区画残っているが、販売価格を引き下げる考えはないのか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2席	4番 檀山 忠 議員	1. 洋光台団地について	<p>(1) 団地を開発した経緯を問う。</p> <p>ア 計画されたのは何年前のことですか。又、開発に至った経緯と経過は。</p> <p>イ 当初の予算と取得土地面積と分譲区画数及び販売価格は。</p> <p>ウ 何年で完売し、完済予定でしたか。</p> <p>(2) 合併時の負債額と未販売区画数を問う。</p> <p>ア 完売できなかった理由と過去に支払われた利息の合計金額は。</p> <p>イ これに対する町の対策は。</p> <p>(3) 平成24年度の負債額は約12億円あり、未販売区画数は10区画であるが、負債の返済方法を問う。</p> <p>ア 未販売区画を完売後の合計販売額は。</p> <p>イ 区画完売後の残負債返済対策は。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
			<p>(4) 敷地内の未開発地の有効利用対策を問う。</p> <p>(5) 団地のインフラ整備の状況を問う。 ア 街灯の老朽化が目立つが、その対策は。</p> <p>イ 路上のマンホールの浮き上りによる除雪対策は。</p> <p>ウ コミセンター周辺道路の冠水被害対策は。</p> <p>エ 空き地、空き家の防火、防犯対策は。</p> <p>(6) 将来を見据えたリニューアル対策を問う。 ア 現在の人口と構成年齢は。</p> <p>イ 経済効果は。</p> <p>ウ 団地をバリアフリー化でリニューアルする考えは。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
		<p>2. ホクエツ(株)八戸工場の移転と老人福祉センター横の町道周辺冠水被害対策について</p>	<p>(1) ホクエツ(株)八戸工場の移転について問う。</p> <p>ア 移転の理由と移転先として町内に適地は。</p> <p>イ ホクエツ(株)としての跡地利用の計画の把握は。</p> <p>ウ 敷地内に間木揚水ポンプ所の地上開口水路の有無は。</p> <p>(2) センター横町道周辺の冠水被害対策を問う。</p> <p>ア 跡地を利用した対策は。</p> <p>イ 排水路の拡張工事は。</p> <p>ウ 間木揚水ポンプ所から土手につづく道路の冠水対策と道路の拡張工事は。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3席	3番 平野 敏彦 議員	1. おいらせ町文書管理について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文書の保管・保存について (2) 保存文書の閲覧について (3) 書庫の管理について (4) 文書の保存期間の文書分類表について (5) 職員採用に係る文書の紛失について (6) 紛失調査の期間と原因究明は (7) 盗難も視野に再調査すべきでは (8) 職員の処分について

順位	質問者	質問事項	質問要旨
		<p>2. 町に寄贈の物品の管理について</p> <p>3 町総合計画後期基本計画概要について</p>	<p>(1) 本庁舎・分庁舎の寄贈物について</p> <p>(2) 小・中学校、図書館、公民館等の寄贈物について</p> <p>(3) 病院の寄贈物について</p> <p>(4) 寄贈物品の管理規定は</p> <p>(5) 寄贈物品の管理台帳は</p> <p>(6) 寄贈物品の処分方法は</p> <p>(1) 26年度予算の重点施策は</p> <p>(2) 後期基本計画概要の説明時期は</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
		4 職員の活性化について	<p>(3) 関係団体からのヒアリングの内容は</p> <p>(4) 実施計画への取り込みと国・県の計画との整合性は</p> <p>(1) 職員研修の実態と内容について</p> <p>(2) 町の研修計画の一つとして全職員の県外研修の実施について</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4席	1番 高坂 隆雄 議員	<p>1 二の川の水質について</p> <p>2 地域の元気再生定住促進条例の制定について</p>	<p>水質汚泥による河川の水質悪化の対応を問う。</p> <p>(1) 人口推計から見た人口減の地域に助成金を交付して定住促進を進める条例の制定であるが、当町を5つの小学校区に区切りそのうち2カ所の小学校区を対象を限定した理由は何かを問う。</p> <p>(2) 議員全員協議会の資料では、平成35年度までの全体人口推計と、5カ所の各小学校の推計を出している。 全年齢人口減は、小学校区5カ所の内4カ所であり、0～14歳・15～64歳までの人口減は5カ所全部である。 10年間の推計を出している中であって、5年間の時限立法としたのは何故かを問う。</p> <p>(3) 住宅取得助成金（基本助成）は、新築住宅の場合取得費の10%上限で150万円、中古住宅の場合取得費の10%で上限100万円、その他助成することになるが、その根拠を示せ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
			<p>(4) おいらせ町内にあって、他小学校区から助成対象の2小学校区に、新築または中古住宅取得の場合にも助成することになると、不公平感が増大すると推測される。</p> <p>そこで、当町の人口増加策として、町外からの転入を促す制度に改め、助成対象区域を全域に広げて、条例内容を変更する考えはないかを問う。</p>